

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	25-3																											
PDCA	主要事業名	乙川中部土地区画整理事業	部課名	建設部 市街地整備課	担当	小林																											
					内線	453																											
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地 全体事業期間： 平成6年度 ~ 令和8年度 全体事業費等： 17,060,000 千円 会計 乙川中部土地区画整理事業特別会計 歳出科目： 01.01.01.02.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																											
	事業概要等	事業概要： 乙川中部地区の土地区画整理を実施することにより、道路・水路・公園など公共施設の土地基盤を整備するとともに、土地利用の再編成を行い、良好な住環境の形成を図る。地区内には、本市の道路網の骨格となる都市計画道路3・3・21環状線が計画されており、早急な整備が望まれているため、あわせて整備を進める。																															
		事業目的： 土地区画整理による土地利用の再編と公共施設等の都市基盤整備により、良好な街づくりを進める。																															
		事業内容： 良好な住環境の形成と（都）環状線の整備を図るため、物件移転補償、区画整理工事、測量調査設計業務委託等を行う。																															
		問題点・課題 東海旅客鉄道(株)など関係機関と施工方法及び工程管理などについて、綿密に協議打合せを実施等： 施し、国の交付金などの確保に努めながら、跨線橋の完成並びに事業の早期完了を目指す。																															
	予算額	主要事業とする理由																															
	1,234,806 千円	道路・下水道・公園など公共施設の都市基盤整備及び土地利用の効率化を進め、乙川中部地区の利便性・快適性など住環境の向上を図る必要があるため。																															
	財源内訳	得られる成果																															
	市費 1,027,806 千円	建物の移転や道路整備等が進むことにより、土地利用が図られ、良好な住環境の形成につながる。																															
	国費 207,000 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">建物移転率</td> <td>実績値</td> <td>98.1</td> <td>98.7</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>98.7</td> <td>99.4</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	建物移転率	実績値	98.1	98.7	—	%	目標値	98.7	99.4	100.0	%	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																												
建物移転率	実績値	98.1	98.7	—	%																												
	目標値	98.7	99.4	100.0	%																												
その他	実績値																																
	目標値																																
県費 0 千円																																	
その他 0 千円																																	
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果																															
	1,346,024 千円 (うち繰越分377,000千円)	物件移転対象 1 5 6 件中 2 件の移転が未完了だったが、令和4年度中に 1 件の移転が完了したことにより、周辺の宅地造成などを進め、土地区画整理事業の進捗を図った。																															
		成果指標				令和4年度	単位																										
		建物移転率	実績値	99.4	%																												
		目標値	100.0	%																													
C 課題の整理	事業の評価・課題	B																															
		跨線橋については、上部工として桁架設 3 径間、歩道橋 1 橋を施工できた。 今後、跨線橋の完成とともに国道247号の嵩上を実施するため、地元住民や臨海部の企業など関係者と調整を図り、環状線の早期全面供用開始を目指す。 物件移転補償については、交渉を続けている補償対象残り 1 件の契約を締結する必要がある。																															
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	拡充推進																															
		地元住民、臨海部の企業など関係機関へ丁寧に説明し、国道の嵩上や環状線の工事への理解を得るとともに、円滑に工事を実施する。さらに、工事の進捗に合わせて国の交付金等を確保する。残る物件移転についても、事業進捗に合わせて着実に進めていく。																															
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																											
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない																										
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ない	余地																												
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																											
主要施策の成果報告書で活用																																	
評価項目（決算時に作成）																																	